

平成 24 年度事業報告

清流・環境対策部会

身近な川や水辺の健康診断は、小・中学校からの初参加があったので、調査サポートの要請を確認し、会員の協力のもと調査サポートを行った。クリーンアップ・キャンペーンは参加申込みが増加した。ゴミ発生源対策「捨てない・すてさせない in 最上川」は山形県海岸漂着物対策推進協議会と連携を強化した。もがみがわ水環境発表会では、ポスターセッション発表の小学生については、参加しやすいようにかべ新聞として募集、発表の機会の拡大を図った。

また、川への意識の向上を図ってもらうために、楽しさ・大切さ、危険な所、身の守り方などを学習する「川の安全利用出張講座」を山形県内の小学校・学童保育所を中心として実施した。

1 第 11 回身近な川や水辺の健康診断

(1) 実施状況

①一斉調査期間 平成 24 年 6 月 2 日 (土) ～6 月 10 日 (日)

学校などで調査の場合 平成 24 年 6 月 2 日 (土) ～7 月 20 日 (金)

②主な調査内容

- ・透視度計 (1m) による透視度調査

- ・パケットテスト (簡易水質検査器材) による水質調査

6 項目 : pH、COD、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、リン酸性リン

※COD については国土交通省と市民団体が連携して実施する「身近な水環境の全国一斉調査」の一環として実施。調査結果 50 地点分を提出。

- ・水辺環境 (ゴミや川の中や水辺の生きもののすみ場の様子など) の簡易目視調査

生きもののおよすについて、どんな魚と鳥がいるかを調べてきたが、短時間で判断するのが難しいことから、今年度から水辺の生きもののおよすが多いかどうかの判断基準に変更。

- ・水生生物調査

山形県環境科学研究センターと連携し、希望グループについては身近な川や水辺の健康診断との同時申込み可能。

③参加申込み 102 団体・1, 139 名・276 箇所

④調査実施結果 97 団体・ 978 名・256 箇所 ※ () 内の数値は、23 年度状況

	置賜地区	村山地区	最上地区	庄内地区	計
実施団体数	23 (28)	34 (36)	25 (23)	15 (14)	97 (101)
調査箇所数	70 (75)	82 (89)	71 (65)	33 (25)	256 (257)
参加人数	378 (399)	266 (283)	171 (184)	163 (162)	978 (1, 028)

年度別実施状況

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
団体数	124	83	108	116	110	100	85	80	95	101	97
人数	803	929	1060	1271	1181	1213	890	1055	1227	1028	978
調査地点数	346	285	284	298	287	217	215	221	259	257	256

(2) 事業に対する支援

- ・パケットテストと比色カード (COD 以外の 5 項目)
国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所、酒田河川国道事務所、新庄河川事務所
- ・公定法調査協力
公益社団法人山形県水質保全協会、一般財団法人山形県理化学分析センター、
エヌエス環境株式会社、株式会社テトラス、東北環境開発株式会社、株式会社東北サイエンス、
株式会社理研分析センター

(3) 参加者説明会について

地域部会が主体となり開催。置賜・村山・庄内の 3 地域部会員の方に開催準備のご協力をいただき、参加者の募集を行った。

- ・庄内地区説明会
平成 24 年 5 月 25 日 (金) 14:00~15:30 (三川町地域福祉センター 3 団体・6 名)
内容 (1) 器具の使用法・記録用紙記入法の説明 (2) パケットテスト・透視度計の実技講習
- ・村山地区説明会
平成 24 年 5 月 26 日 (土) 14:30~16:00 参加申込みが 1 団体のみのため実施せず。
- ・置賜地区説明会
参加者説明会は開催しないが、説明を希望する際は NPO 法人おいたまサロンにて随時対応。

(4) 参加者への現地調査サポートについて

参加団体からの要請に応え、地域部会を中心に下記団体のご協力により、現地にて水質調査指導や調査全般のサポートを行った。

(協力会員等) 山形県環境科学研究センター、公益社団法人山形県水質保全協会、
しらたかサイエンスクラブ、心のふるさと新井田川の会

- (5) 調査結果集計は、23 年度に引き続き公益社団法人山形県水質保全協会の協力を得て、データを作成し、報告書「笑顔を写す山形の川」に掲載。あわせて、フォーラムホームページ上に「水辺水質マップ」として掲載。

2 第 10 回美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン

(1) 実施状況

- ・実施期間 8 月~10 月
- ・65 団体、1,523 名の参加
- ・データカード作成にご協力いただいたグループの活動経費の一部を支援。
10 人以上=5 千円、10 人未満=3 千円
- ・調査結果はフォーラムホームページ上「最上川環境マップ」に掲載。報告書「笑顔を写す山形の川」に掲載。

参加状況結果

※ () 内の数値は、23 年度状況

	置賜地区	村山地区	最上地区	庄内地区	計
参加 グループ	10 (15)	33 (17)	7 (7)	15 (16)	65 (55)
参加人数	222 (563)	718 (310)	169 (162)	414 (312)	1,523 (1,347)

年度別参加状況

	H14	H15	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
グループ数	6	17	21	58	49	50	50	49	55	65
人数	—	—	—	1839	1019	1000	1700	973	1347	1523

- (2) イベントとのコラボレーション（事務局にて広報協力・キャンペーンの概要説明の実施・参加）
- ・「AQUA SOCIAL FES!!2012」～最上川クリーンアップキャンペーン～
…8月25日（土）河北町最上川、9月30日（日）山形市馬見ヶ崎川（参加者計 約130名）
 - ・水土里ネット三郷堰…9月6日（木）ふれんどしっぷ水辺の郷サミット（中山町 参加者約60名）
 - ・JTB地球いきいきプロジェクト～戸沢村最上川～…9月30日（日）（参加者 約40名—秋田県より）

3 ゴミ発生源対策「捨てない・すてさせない in 最上川」

- (1) 山形県海岸漂着物対策推進協議会との連携事業を行い、河川流域と沿岸部の意識共有を図った。
- ・7月7日…「海岸クリーンアップ応援作戦」庄内地域部会と美しいやまがたの海プラットフォーム、NPO法人パートナーシップオフィス共催
 - ・8月24日（金）～26日（日）…第10回海ゴミサミット2012 亀岡保津川会議へ、柴田会長がパネリストとして参加。
 - ・10月28日（日）…美しいやまがたの海推進サミットへ柴田会長がパネリストとして参加。
 - ・海岸漂着物問題普及啓発展開手法検討会へ菅原清流・環境対策部会長が検討委員として参加。
開催日：6月22日（金）、9月18日（火）、11月19日（月）
- (2) フォーラムでは地元の業者にゴミを回収してもらい、その企業を地域貢献企業として認定し、公共入札の時にポイントをつける総合評価方式入札制度を提唱している。この制度について、会長が上記イベントや市町村長を訪問し、働きかけを行った。
- (3) 国土交通省山形河川国道事務所が支流と本流の合流点に鉄柵9箇所を設置し、回収ゴミの調査を継続実施。モデル地区3市6町の取り組みと合わせて、結果をフォーラムホームページ「最上川環境マップ」で公表。

4 第8回もがみがわ水環境発表会

山形県環境科学研究センターと連携し開催。県内各地において水環境向上の活動に取り組む個人、団体、学校（小・中・高・大学・大学院）、研究機関が、日ごろの活動や研究成果を発表。

11月11日（日） 遊学館（山形県生涯学習センター） 第1・2研修室（参加者 約110名）

共 催：公益財団法人山形県生涯学習文化財団

協 賛：社団法人東北建設協会、公益社団法人山形県水質保全協会、株式会社理研分析センター、大岩環境技術士事務所、一般社団法人山形県計量協会計量証明部会、一般社団法人山形県浄化槽工業協会、山形県土地改良事業団体連合会、一般財団法人山形県理化学分析センター

後 援：山形県教育委員会、朝日新聞山形総局、毎日新聞山形支局、読売新聞東京本社山形支局、日本経済新聞社山形支局、産経新聞社山形支局、河北新報社、共同通信社山形支局、時事通信社山形支局、山形新聞・山形放送、荘内日報社、米澤新聞社、NHK山形放送局、山形テレビ、テレビユー山形、さくらんぼテレビ、エフエム山形、ケーブルテレビ山形、山形コミュニティ放送株式会社

発 表：口頭発表セッション9団体、ポスターセッション12団体（うち「かべ新聞」（小学生）1団体、）合計21団体。

基調講演：「地域の持続可能な発展と活性化に向けて―最上川と琵琶湖―」

講師 大歳 恒彦 氏（東北公益文科大学名誉教授）

- ・参加者募集のチラシを作成し、身近な川や水辺の健康診断参加者・関係団体・県内小中高校・環境NPO団体・各市町村広報担当等へ配布。
遊学館、山形県産業科学館、山形市総合学習センターへチラシとポスターの掲示の依頼を行った。
- ・講演要旨集のカラー版をフォーラムホームページに掲載。

5 美しい水辺づくり功労賞

- ・「身近な川や水辺の健康診断」に継続して参加するとともに、水辺の環境向上へ向けた具体的な活動を実施している団体、環境教育に貢献している3団体を表彰。

11月11日（日）開催の「第8回もがみがわ水環境発表会」口頭発表に先立ち表彰式を行う。

（受賞団体）大寺ふるさと守り隊〔山辺町〕、水辺で遊べるわらしっ子広場整備促進協議会〔長井市〕

八沢川せせらぎ公園愛護会・鶴岡市立上郷小学校〔鶴岡市〕 ※連名受賞

- ・表彰状および副賞（図書カード5千円分）を贈呈。
- ・「水環境発表会」講演要旨集へ活動紹介を掲載。さらにポスターを作成し会場にて掲示を行い、縮小版を受賞団体へ進呈。ホームページにも掲載。

6 川の安全利用等啓発事業

川への意識の向上を図ってもらうために、楽しさ・大切さ、危険な所、身の守り方などを学習する「川の安全利用出張講座」を山形県内の小学校・学童保育所を中心として実施。

(1) 出張講座開催件数：53件 1,745人

参加状況報告

	置賜地区	村山地区	最上地区	庄内地区	計
参加小学校 学童保育所等	6	31	5	11	53
参加人数	219	1,151	90	285	1,745

(2) 出張講座を受講された参加者の意見や要望を考慮した、パンフレットを70,000部作成。
県内の小学校282校に6,300部送付

7 報告書「笑顔を写す山形の川」

身近な川や水辺の健康診断、美しいやまがたクリーンアップキャンペーンの結果など清流・環境対策部会の事業報告書3,000部を作成。

最上川文化・地域経済活性化部会

「東北・夢の桜街道」事業は協議会の第1回総会を開催し、桜を活用した東北連携の復興支援10年プロジェクトが広がりをみせている。県内の観光振興を盛り上げる「最上川夢の桜街道～美味しいやまがた桜の札所三十三カ所巡り～」は、写真コンテスト・写真展を開催し、県内外に山形県の魅力ある観光資源を発信する事ができた。またホームページでは「美味しいやまがた情報」などコンテンツを拡充している。

さらに今年度新たな桜守育成の試みとして、「サクラを守るための研修会」を公益財団法人山形県みどり推進機構、山形新聞・山形放送と共催で実施した。

1 東日本大震災復興支援プロジェクト「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所巡り」

(1) 「東北・夢の桜街道推進協議会」が主催し、2つのイベントを開催。

- ・4月21日『桜の語り会（福島県・三春滝桜）』全国各地から約200名が集った。
全日空・JR東日本・ネクスコ東日本・鳩バス・クラブツーリズム・JTBから広報等で協力を得た。
- ・1月20日『東北復興支援シンポジウム』関東を中心に330名が参加。

(2) 7月25日（水）、仙台にて「東北・夢の桜街道推進協議会」平成24年度総会を開催。

- 協議会メンバーが一同に集結し、来年の桜の時期に向けた協議を行った。
- ・各桜の札所へ看板、桜の札所スタンプラリーのスタンプ台を設置。

2 最上川夢の桜街道～美味しいやまがた 桜の札所三十三カ所巡り～

- ・桜をメインに、各地の隠れた名物や、地域づくりに取り組む団体を紹介するチラシを作成。
- ・フォーラムホームページ上に、「美味しいやまがた情報」バナーを作成。隠れた名物を掲載中。
桜の札所三十三カ所について、ホームページ上にコンテンツを作成。
- ・第4回「夢の桜街道写真コンテスト」写真展を開催。県内外の入場者を集め、山形の桜の魅力を発信した。

3 写真コンテスト

(1) 第4回「夢の桜街道写真コンテスト」を開催。

テーマ「最上川夢の桜街道～やまがた桜の札所・三十三カ所巡り～」

県内外の写真愛好者133人から315点、高校生以下の部では38人から54点応募いただいた。

- ・審査会：7月6日（金）
審査員：阿部直美県写真連盟会長、前川孝子フリーアナウンサー、
本間最上川文化・地域活性化部会長
最優秀賞1点、優秀賞3点、奨励賞4点、佳作6点、高校生以下の部入選3点を選定
- ・表彰式：9月1日（土）山形県郷土館「文翔館」 ギャラリー6
出席者数 受賞者（10名）をはじめ28名
- ・展示会：9月1日（土）～5日（水）山形県郷土館「文翔館」 ギャラリー5・6・7
- ・来場者数約390名
- ・受賞作品、開催報告をホームページに掲載。

(2) 「夢の桜街道写真コンテスト」作品展示

- ・やまぎんコミュニティプラザ 4月9日（月）～4月27日（金）
第1回～3回「夢の桜街道写真コンテスト」受賞作品を中心に掲示した。
- ・「かわとびあ2012in山形」ブースにてこれまでの「夢の桜街道写真コンテスト」、「水辺の四季写真コンテスト」受賞作品を中心に掲示した。
9月2日（日） 会場：山形市馬見ヶ崎川河川敷 「日本一の芋煮会フェスティバル」会場内

- ・「やまがた環境展 2012」ブースにて第4回「夢の桜街道写真コンテスト」受賞作品を中心に展示。
10月27日(土)～28日(日) 会場:山形市ビッグウイング

4 最上川夢の桜街道づくり

- (1)「サクラを守るための研修会」を公益財団法人山形県みどり推進機構、山形新聞・山形放送と共催で実施した。

10月18日(木) 13:30～16:00 (山形県高度技術研究開発センター 多目的ホール)

出席者 150名

講師:松下範久氏(東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授 農学博士)

鈴木俊行氏(樹木医 福島県三春町)

サクラてんぐす病の生活環について理解を深めた他、東北・夢の桜街道一番札所「三春滝桜」の保全活動について苦労点などを学んだ。また、東北夢の桜街道パンフレットを参加者に配布し、最上川フォーラムの活動を紹介した。

- (2) 最上川夢の桜街道づくり事業

- ・最上川夢の桜街道の実現に向けて、地域で行う桜の植栽・維持管理などを、市町村を通じて支援。株式会社ヤマザワ会員様よりご支援いただいた。

13市町村・15団体で植栽、手入れ等の活動を実施。

- ・山形新聞社主催の「最上川さくら回廊」と連携をとって実施した。(維持管理や桜守育成に重点)

5 「夢の桜街道～さくら物語～」第15号

- ・事業報告を主とした機関誌として発行。
- ・「東北・夢の桜街道」や「最上川夢の桜街道～美味しいやまがた・桜の札所三十三カ所巡り～」に関わる札所の紹介記事を掲載。また県内の美味しい物情報を「ちょっといっぷく」と題して紹介している。

6 平成24年度夢の桜街道キャンペーン

- ・4～5月にかけて協賛金融機関各支店で開催し、会員拡大のため資料・啓発物品を配布。
- ・柴田会長、本間最上川文化・地域経済活性化部会長、事務局で県庁玄関にて会員拡大の呼びかけを行った。県民活動プロスポーツ支援室の有志も加わった。
- ・ポストカード、ポスター等の啓発物品を作成。

7 環境先進都市(まち)づくり構想～次世代木質建築協議会～

- ・官・民・学からなる新しい公共の多彩なメンバーで、その都度ゲストを迎えながら勉強会を定期的(年3～4回)に開催し、協議を重ねる。

第8回:7月17日(火)開催 第9回:11月2日(金)最上町バイオマス関連施設視察

第10回:2月5日(火)開催

- ・上半期に全国20カ所で、各地方自治体・森林組合・建築士会、会員企業、関連団体、最上川フォーラム等が連携する「新しい公共」の体制で、林野庁後援の「木材利用セミナー」を開催し、参加者は約2500人。セミナーへの共催、後援等を行い、中間報告内容や新しい公共活動を全国に向けて広く発信。
- ・第10回目までの議事概要を最上川フォーラムホームページに掲載中。

地域部会

地域の特性や会員のニーズを踏まえつつテーマを決め、研修会や研究会を開催している。実施に当たっては、地域住民や各種団体等が参加できるように配慮し、フォーラム活動に協力していただける団体とのネットワーク拡充を図っている。

◇置賜地域部会

(1) 地域の宝を後世に引き継ぐ活動

- ・11月8日(木)第2回「最上川夜話を聴く会」を開催。(白鷹町鮎貝地区公民館)
- ・昨年度作成した紙芝居「お羽黒様の大杉物語」を上演した他、舟運文化の歴史を紐解く内容で、「最上川が育んだ文化」と題し、歴史研究家小山田信一先生の講演を行った。

(2) 身近な川や水辺の健康診断 事前指導・調査サポートの実施。

- ・「身近な川や水辺の健康診断」参加依頼を白鷹町小学校全校に継続して働きかけた。
- ・しらかがサイエンスクラブ高山代表を中心に、水質調査の事前指導・調査時のサポートを実施。

◇村山地域部会

(1) 「夏休み体験学習会～最上川を調べてみよう～」の実施。

- ・7月28日(土)県立自然博物館(西川町)にて開催。参加者25名。
- ・森の散策と水質調査などの実験、山形大学農学部梶原先生の講義を行った。
- ・開催報告をホームページに掲載。

(2) 「やまがた環境展2012」への協力

- ・10月27日(土)、10月28日(日)「やまがた環境展」ブースにて展示した写真展のスタッフとして参加協力した。

◇最上地域部会

- ・「指首野川観察と水質調査の会」の実施。

10月22日(月)新庄市千門町公民館にて実施。参加者28名。

指首野川を中心に追跡調査。14箇所について観察と水質調査を行った。

◇庄内地域部会

(1) 「身近な川や水辺の健康診断」の活動

①参加者説明会

5月25日(金)三川町地域福祉センター 参加3団体(6名)

②水質調査・水生生物調査実施指導

7月3日(火)鶴岡市立斎小学校4年生からの要望に対して、赤川上流にて調査サポート指導を実施。

(2) 海岸クリーンアップ応援作戦

- ・7月7日(土)遊佐町吹浦地区釜磯海岸で清掃活動を実施。
- ・美しいやまがたの海プラットフォームとの共催で実施。

総会・運営委員会・部会

通常総会（6月21日）、運営委員会（5月23日、11月28日、3月19日）

合同部会（11月21日、3月14日）

その他 助成事業・委託事業・連携事業など

1 山形県緊急雇用創出事業（山形県）

（1）事業名：平成24年度東北の桜による震災復興支援県民活動推進事業

委託料：10,453,800円

概要：①東北の「桜」を活用した復興支援…復興のシンボルとして、桜を利活用した観光振興の調査・検討。「東北・夢の桜街道運動」の展開。

②美しい山形の探求と桜を継承する活動…東北を訪れた方々が山形を周遊したくなる、魅力ある観光資源の提供。

（2）事業名：平成24年度川の安全利用等啓発事業

委託料：4,954,068円

概要：防災教育の一環として、川の安全利用等への意識を高めてもらうために、県内の町内会（自主防災会・子供会）や小学校等を対象に出張講座を行う。

2 県民活動を推進する人材の育成事業（山形県）

委託料：493,500円

・地域部会を活用した勉強会「フォーラム塾」により、地域を担う人材リーダー育成を行う。市町村・各地域部会等からの推薦者を対象に開催。

最上地域：12月1日（土）新庄市民プラザ（新庄市）にて開催。

置賜地域：1月19日（土）置賜総合文化センター（米沢市）にて開催。

庄内地域：3月3日（日）なの花ホール（三川町）にて開催。

3 山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業（震災等緊急雇用対応事業）

・事業名：平成24年度最上川自然環境保全県民活動推進事業（債務負担行為）

委託料：287,000円（平成24年度）

・概要：25年3月から平成26年2月28日までの委託事業。①環境保全を学び、河川の清掃活動に取り組む②水質保全・環境浄化を学ぶ③水辺の生物・生態系を観察することなどにより、自然と共生していく取組みを進め、美しい山形づくりのための県民活動を推進する。24年度は「第12回身近な川や水辺の健康診断」実施に向けての実施検討会開催準備を行う。

4 みちのく国づくり支援事業（社団法人東北建設協会）

（1）事業名：「最上川をきれいに『ゴミを捨てない県民運動』」 採択額：100,000円
ホームページ「最上川環境マップ」の拡充。「水質マップ」新規構築。

（2）事業名：「もがみがわ水環境発表会」 採択額：80,000円

5 水環境保全助成事業（社団法人全国浄化槽団体連合会）

助成額：200,000円

・「身近な川や水辺の健康診断」の実施。

6 多団体との連携事業

- ・山形県海岸漂着物対策推進協議会
- ・東北・夢の桜街道推進協議会
- ・美しい多摩川フォーラム

7 各種助成事業・基金への応募や、寄付などの獲得、その活用を行う。

- ・みちのく国づくり支援事業（社団法人東北建設協会）
- ・やまがた社会貢献基金
今年度の試みとして、寄付の呼びかけを行った。
- ・山形市コミュニティファンド
- ・Web 約款寄付活動（あいおいニッセイ同和損害保険株式会社）

8 35市町村との連携

23年度から会員となった県内全市町村との連携を引き続き重要視している。会長・両部会長・地域部会長・事務局長が協力して24年度も訪問し、意見交換を行った。

平成24年度美しい山形・最上川フォーラム収支決算

収入の部計	26,167,267
支出の部計	24,606,009
差引(H25年度への繰越金)	1,561,258

平成25年3月31日現在
(単位:円)

1 収入

区分	平成24年度 当初予算額	補正後予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B-A)	備考
1 会費	5,653,000	6,378,000	6,378,240	240	
2 県負担金	400,000	400,000	400,000	0	
3 山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業 (東北の桜による震災復興支援県民活動推進事業)	10,453,800	10,453,800	10,453,800	0	
4 山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業 (川の安全利用等啓発事業)	4,954,068	4,954,068	4,954,068	0	
5 山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業 (最上川自然環境保全県民活動事業)	0	287,000	283,127	▲ 3,873	
4 繰越金及び積立金	2,218,532	2,218,532	2,218,532	0	繰越金1,028,532円、夢の桜街道積立金1,010,000円
5 諸収入	680,600	1,479,600	1,479,500	▲ 100	
①団体助成金など	680,000	1,478,912	1,478,912	0	
県民活動を推進する人材育成事業	500,000	493,500	493,500	0	
あいおいニッセイ同和損保web約款寄付	0	59,412	59,412	0	
水環境発表会協賛金	0	90,000	90,000	0	公益社団法人山形県水質保全協会様 20,000円 株式会社理研分析センター様 20,000円 大岩環境技術士事務所様 10,000円 一般社団法人山形県計量協会計量証明部会様 10,000円 一般社団法人山形県浄化槽工業協会様 10,000円 山形県土地改良事業団体連合会様 10,000円 一般財団法人山形県理化学分析センター様 10,000円
㈱ヤマザワ会員様寄付	0	456,000	456,000	0	
みちの国づくり支援事業費	180,000	180,000	180,000	0	社団法人東北建設協会様
水環境保全助成事業	0	200,000	200,000	0	社団法人全国浄化槽団体連合会様
②預金利子等	600	688	588	▲ 100	
合計	24,360,000	26,171,000	26,167,267	▲ 3,733	

2 支出

区分	平成24年度 当初予算額	補正後予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B-A)	備考
1 運営費	13,850,000	14,060,000	13,071,274	▲ 988,726	
①交通費	400,000	400,000	391,237	▲ 8,763	
②需用費	1,050,000	1,050,000	545,031	▲ 504,969	
③役員費	1,200,000	1,200,000	791,292	▲ 408,708	
④使用料	700,000	700,000	571,734	▲ 128,266	
⑤事務局員費	10,500,000	10,710,000	10,771,980	61,980	山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費含む
2 事業費	10,421,000	10,610,500	10,031,420	▲ 579,080	
①水辺の健康診断	1,000,000	800,000	665,982	▲ 134,018	水環境保全助成事業補助対象 山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費(最上川)含む
②もがみがわ水環境発表会	280,000	370,000	301,893	▲ 68,107	みちの国づくり支援事業補助対象、協賛金含む
③グリーンアップキャンペーン	400,000	500,000	431,037	▲ 68,963	
④さくら物語	700,000	800,000	775,180	▲ 24,820	山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費(桜)
⑤写真コンテスト	600,000	600,000	547,785	▲ 52,215	山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費(桜)
⑥東北桜の札所八十八カ所巡り	1,200,000	1,200,000	1,199,047	▲ 953	山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費(桜)
⑦やまがた桜の札所三十三カ所巡り	500,000	550,000	548,663	▲ 1,337	山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費(桜)
⑧桜街道づくり	1,500,000	1,956,000	1,876,045	▲ 79,955	
⑨キャンペーン啓発物品	600,000	550,000	491,646	▲ 58,354	山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費(桜)含む
⑩地域事業	800,000	550,000	508,847	▲ 41,153	
⑪ゴミ発生源対策	750,000	650,000	635,029	▲ 14,971	
⑫最上川利活用	150,000	150,000	125,906	▲ 24,094	みちの国づくり支援事業補助対象
⑬川の安全利用啓発事業	1,441,000	1,441,000	1,436,694	▲ 4,306	山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費(川)
⑭県民運動を推進する人材育成事業	500,000	493,500	487,666	▲ 5,834	
3 予備費	89,000	89,000	3,315	▲ 85,685	
4 積立金および繰越金	0	1,411,500	1,500,000	▲ 88,500	夢の桜街道積立金へ
総計	24,360,000	26,171,000	24,606,009	▲ 1,564,991	

3 積立金

区分	24年度 期首残高(A)	24年度 期末残高(B)	増減 (B-A)	備考
1 フォーラム基盤強化積立金	1,108,435	1,108,663	228	
2 夢の桜街道積立金	1,010,000	1,500,000	490,000	
合計	2,118,435	2,608,663	490,228	

美しい山形・最上川フォーラム 役員(平成25年6月28日現在)

【顧問1名、運営委員(会長・副会長含む)25名、監事2名】

	氏名	所属	役職
顧問	吉村美栄子		
会長	柴田 洋雄		
副会長	佐藤 五郎		
副会長	井上みやま		
運営委員	菅原 幸司		
運営委員	本間 義衛		
運営委員	大泉 茂		
運営委員	横尾 友栄		
運営委員	竹田 仁		
運営委員	渡邊 恭一		
運営委員	齋藤 正昭		
運営委員	原田 清廣		
運営委員	長沼 清弘		
運営委員	桑嶋 誠一		
運営委員	佐藤景一郎		
運営委員	今成光一郎		
運営委員	亀井 浩之		
運営委員	手塚 寛之		
運営委員	高橋 重道		
運営委員	藤沢 和範		
運営委員	廣瀬 涉		
運営委員	岡 邦彦		
運営委員	安達 正司		
運営委員	内谷 重治		
運営委員	加藤 正美		
運営委員	伊藤 憲昭		
監事	佐藤 学		
監事	小川 一博		

(敬称略、順不同)

